

取材・文 柳原三佳 ●イラスト 吉岡昌詔



柳原三佳

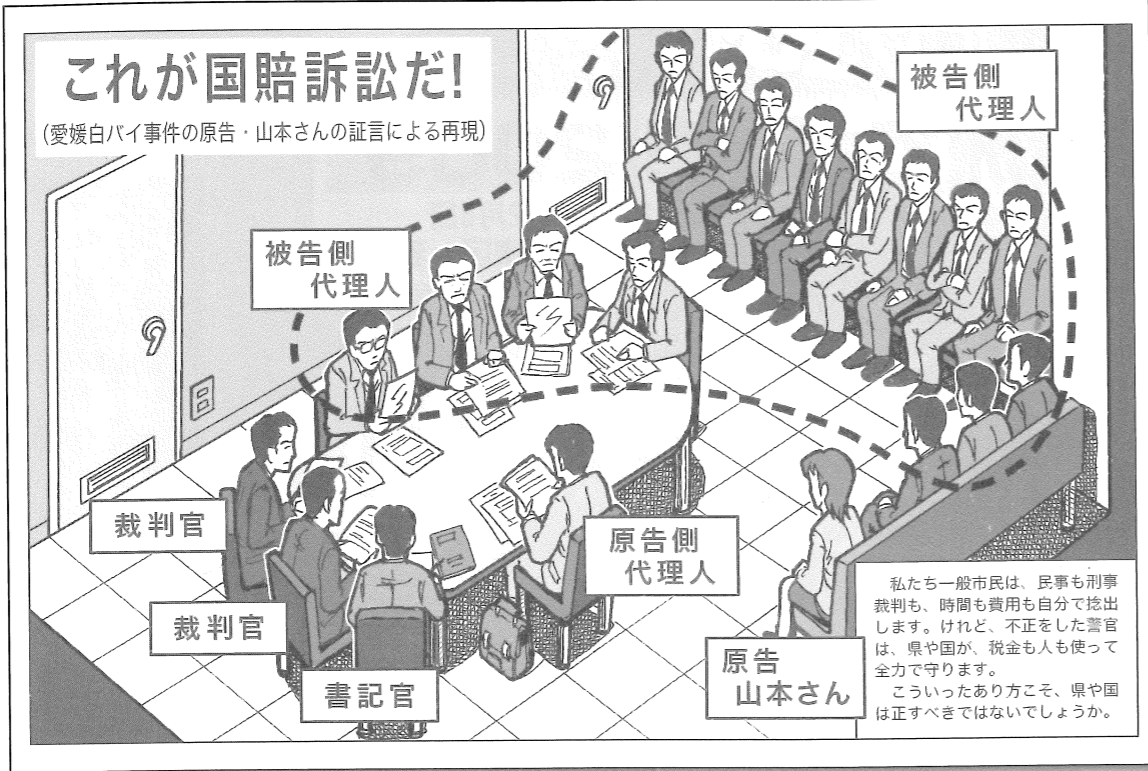
やなぎはらみか
バイク雑誌の編集記者を経てフリーに。
交通事故を主なテーマに執筆する他、
TV出演、講演活動も行う。本誌や「週刊朝日」に連載した交通事故の告発ルポは、自賠責制度の大改正につながり話題を呼んだ。また検視や司法解剖に関する取材も精力的に行い、日本の死因究明のひずみを鋭く指摘している。最新刊「自動車保険の落とし穴」「焼かれる前に語れ」「交通事故被害者は二度泣かされる」など著書多数。自らも限定解除のナナハンライダーである。



←2004年11月8日に発生した愛媛白バイ事件。少年と隊員双方が重傷を負った。

「警察や検察を相手に、過酷な裁判を続けています」
—愛媛白バイ事件

- 5 土佐豊員 A
6 土佐豊員 B
7 科捜研技官 C
8 白バイ隊員 D
提訴の日、片岡さんの支援者によるブログ、「高知白バイ事件」片岡晴彦収監中」には、次のようなメッセージが綴られていました。3



これが国賠訴訟だ!

(愛媛白バイ事件の原告・山本さんの証言による再現)

年前の今日から片岡さんとご家族、そして、Y隊員とご家族の不幸が始まりました。今、降っている雨は涙雨かもしれません。この事件に深く関わった者として、亡くなられた隊員に哀悼の意を表します。亡くなられた方の身辺を騒がすことは申し訳なく思いますが、今でも事実を知ることが、それを受け入れ

以下は、山本さんが2007年11月1日に起訴を起してから、現在にいたるまでの裁判経緯です。

- 山本事件は、「愛媛の白バイ事故…母です」 http://blogs.yahoo.co.jp/toshika\_zu2355/199002.htmlでこれまでの経緯が紹介されている。また、柳原三佳のHP http://www.mika-y.com/では、特集番組を動画で配信中だ。
●高知白バイ事件は、支援者によるブログ「高知白バイ事件=片岡晴彦収監中」 http://littlemonkey737.blog90.fc2.com/に詳しい経緯が綴られている

「事故から3年、ついに高知県警を提訴しました」
—高知白バイ事件



2006年3月3日に発生した、高知白バイ事件。白バイ隊員は即死だった。

3月20日、愛媛の山本さんから私のもとに封書が送られてきました。中に入っていたのは、原告の山本さんと、被告(愛媛県ほか)が出した「第7回準備書面」でした。被告側の準備書面の表紙には、今回も大勢の代理人の名前がズラリ(数えてみたところ、なんと12人!)。一方、山本さん側には、代理人の名前が一人だけ……。私はこれまで、同様の裁判をたくさん取材してきましたが、国や県を相手にした国家賠償訴訟では、いつも例外なく、こんな感じなのです。ちなみに、左ページのイラストは、3月18日に松山地方裁判所のラウンドテーブル法廷で行われた裁判の様子を、被害者の母である山本純子さんのスケッチをもとに再現したものです。これを見ると、いかに被告側のメンバーが多いかがよくわかりますよね。

山本さんはこう続けます。「私たち一般市民は、何をしても自力です。刑事裁判での弁護士費用も、今回の民事裁判も、もちろん自腹。当然の損害賠償を請求しているだけなのに、その負担はどれだけ大変なことでしょうか。不正をした警察官は全力で県や国が守ってくれるのに? おかしすぎます! 本来、県や国は、不正をした警察官を全力で「正す」べきではないでしょうか。警察、検察、裁判所は変わらなくてはならないと思います」

- 1 1回目 2007年12月19日
2 2回目 2008年3月12日
3 3回目 4月30日
4 4回目 7月9日
5 5回目 9月17日
6 6回目 11月21日
(以下非公開)
7 7回目 2009年1月30日
8 8回目 3月18日
9 9回目(予定) 5月26日
事故発生(2003年11月)から今年で5年。当時16歳だった息子の昌樹さんはすでに成人式を迎えました。

高知白バイ事件・片岡夫妻もついに県警を提訴!
一方、高知白バイ事件でも大きな動きがありました。先月号では、獄中から届いた元運転手・片岡さんの手紙を取り上げましたが、事故発生からちょうど3年目を迎えた今年3月3日、片岡さん夫妻は、高知県警に対し証拠不十分などさまざまな捜査を行ったとして、1000万円の損害賠償を求める裁判を起したのです。この訴訟における被告は、次の8名です。
1 高知県知事
2 高知県警本部長
3 事故当時の県警本部長
4 事故当時の交通部長

